

笠松町交通バリアフリー 基本構想 ③

町では、誰もが安心、安全、快適に移動出来るよう、交通バリアフリー基本構想の策定を進めています。今月号では、笠松駅周辺を中心に主要施設までをタウンウォッチングし、それに合わせて疑似体験およびワークショップも行いましたので、その概要についてお知らせします。

第二回委員会を選定した、駅を中心に早急に整備が必要と思われる5ルートを、参加いただいた四十八人の皆さんがグループに分かれて、実際に歩いて点検しました。

ルートによっては、中央公民館が始まりとなるグループもありました。

【実施日】
平成十六年十一月二十三日(火)
午前九時～午後四時

交通バリアフリー教室の開催

同時に開催した交通バリアフリー教室では、国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局総務企画課の宮田企画係長が施設のバリアフリー化も必要ですが、皆さんのマナーや周りの人のサポートによってバリアを解消することが出来るという心のバリアフリーの必要性などの話しがありました。

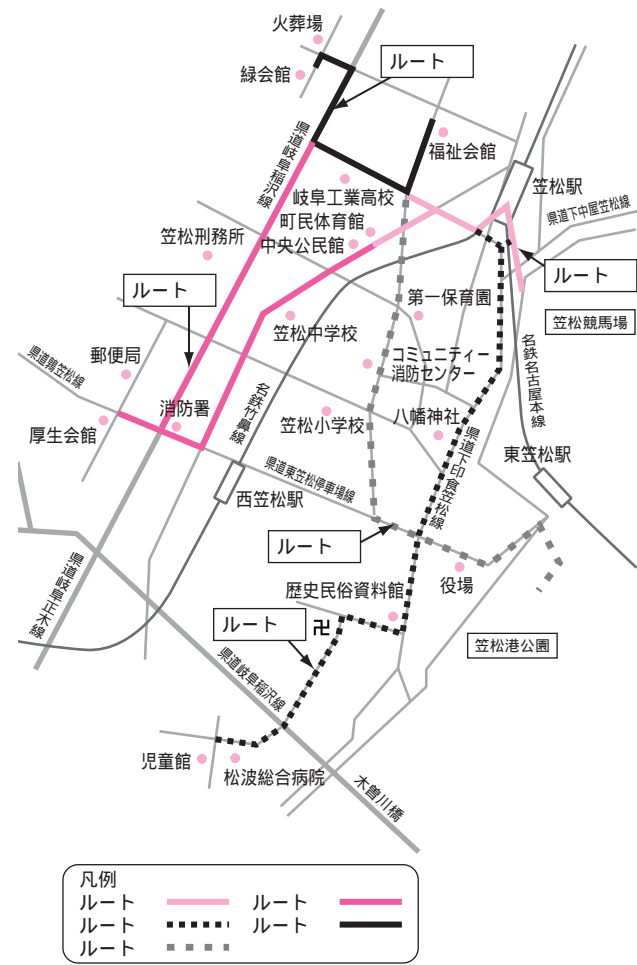


バリアフリー教室の様子

【ルート】参加者十二人

タウンウォッチングの実施

笠松町の玄関口である名鉄笠



凡例	ルートの	ルートの
ルートの	ルートの	ルートの
ルートの	ルートの	ルートの
ルートの	ルートの	ルートの

松駅およびその周辺の交通バリアをチェックしました。

中央公民館を出発し、春日町信号交差点～笠松駅構内～笠松競馬場までの区間(歩いた距離1.25km)

駅構内の点検風景



駅構内の点検風景

【ルート】参加者九人

通勤時間帯には車両交通が多い下印食笠松線、生活に密着した八幡神社、車両が集中する松波総合病院周辺の道路の交通バリアのチェックを行いました。

中央公民館から公共施設巡回町民バスを利用して児童館前(松波総合病院附近)へ移動し歴史民俗資料館へ八幡神社へ笠松駅までの区間(歩いた距離1.71km)



歩道がなく危険である

【ルート】参加者八人

歴史散策ブームにより、今後他地域からの来町増加が予想され、笠松地域の歴史軸をなす「鮎館街道」「笠松みなと公園」へのアクセスを想定し、その途中の交通バリアをチェックしました。

鮎館街道を南へ下り、役場、笠松みなと公園まで、その後、役場から車を利用して笠松駅までの区間(歩いた距離1.56km)



側溝蓋の穴に車イスのキャスターが落ちてしまう

【ルート】参加者十人

岐阜工業高校や福祉会館、緑会館など、他地域からの来町が比較的多いエリアの道路上の、交通バリアのチェックを行いました。

笠松駅から春日町信号交差点～福祉会館～岐阜稲沢線～緑会館～中央公民館までの区間(歩いた距離1.57km)



歩道がなく危険である

【疑似体験】

国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局と町社会福祉協議会、名古屋鉄道(株)の協力により行いました。

疑似体験では、ルートは駅構内で、残りのルートについては駅周辺で、次の三つのパターンでの感覚を体験していただきました。

- ・お年寄りの感覚
- ・視覚障害者の感覚
- ・車いす利用者の感覚



高齢者体験具をつけて駅構内を体験

ワークショップ

午後からは午前中に行われたタウンウォッチング・疑似体験で発見した問題点やその解決策について、それぞれのルートでグループに分かれ話し合いました。

【グループ発表】

グループ毎に点検内容を取りまとめ代表者が発表しました。主な内容は次のとおりです。



熱心に討議する参加者

- 参加者からの意見**
- 公共交通施設**
- ・エレベーター、トイレなどの設置
 - ・プラットホームの勾配の解消
 - ・駅前広場の安全利用
- 道路**
- ・側溝蓋の隙間や段差の解消
 - ・十分な幅の歩道確保
- 交通安全**
- ・音声信号、点字ブロックの設置
 - ・歩道などの通行に支障となる電柱の移設
- その他**
- ・バリアフリー化には、沿道商店などの協力が大切である。
 - ・点字ブロックの上や人の動線上に看板や物が置かれているなど、マナー違反の問題がある。

最後に

鶴田委員会会長より参加者の意見につきまして、出来るだけ基本構想に反映し、策定作業に努めていくことを確認し、閉会しました。なお、参加者の意見など詳細についてはホームページに掲載しますのでご覧ください。

先般、実施されましたアンケート調査にご協力をいただきましたありがとうございます。



歩道が狭くすれ違いが困難である



リフトで乗車する車イス利用者

【介護タクシー】

ルート、については、タウンウォッチング中に車での移動がありました。車いすに乗ったままで降り降りできる介護タクシーを用意し、参加者に体験をしていただきました。